

# 牟佐町内会新聞

## 第46号

発行日：令和8年1月1日  
 発行：牟佐町内会  
 責任者：町内会長  
 田尻 祐二  
 編集：電子町内会運営委員

### 年頭あいさつ

町内会長 田尻 祐二

新年あけましておめでとうございます。皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨夏は、一段と厳しい暑さとの長い戦いがありました。10月には予定した運動会が、グラウンドのコンディションが悪く、中止を余儀なくされました。しかしながら、改めて1年を通して振り返ると、地域には、犬の散歩やウォーキングを通しての毎日のコミュニティから、毎週木曜日の憩いの広場、カラオケ、産地牟佐塾や各種サークル活動を通じてのコミュニティがあります。また、協働するイベントとしては、みそづくり、ほのぼの文化祭、牟佐っ子ども教室、刑務所矯正展への参画、そして12月のもちつき大会等々、さらにはシニアクラブ、子ども会、秋祭りなど様々な形で地域コミュニティが活発でした。これらの活動は、地域の安全・安心のためにも、とても重要なものと考えています。



10月の終わりころ、牟佐の公民館がちょうど木曜日でにぎわっていたところへ、玄関前のスペースに乗用車が何台も乗り付けられ、物々しい雰囲気でした。後でお聞きすると、特殊詐欺の犯人を逮捕したとのこと。牟佐がその舞台になったわけです。他人ごとではなくなりました。皆さんと声を掛け合いながら、気をつけていきたいと思えます。

町内会会員は、1月1日現在で1,035世帯となりました。我が町内在住の中西選手の活躍（9月、世界アーチェリー選手権大会男子団体銅メダル）等から元気をもらいながら、一層の交流、参画の機会を大切にして、行政を含めた多様な団体との連携、協働で、引き続き課題解決に取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

### もちつき大会を開催



晴天に恵まれ、公民館は約400人で大賑わいでした。ご参加の皆さん、お手伝いをいただいた運営スタッフ皆さんに感謝申し上げます。「産地牟佐」にこだわったメニューは、つきたてのお餅と共に、シシ汁（黄ニラ入り）、ぜんざい、モクズガニ、ニホンミツバチのはちみつ、そして新鮮野菜まで。いずれも牟佐の豊かな自然を、味覚を通して体感できるものでした。食材を提供いただいた地元の皆様に深く感謝申し上げます。もちつきでは、高齢の先輩が「20年ぶりだが、昔取った杵柄だ」とおっしゃりながら、その言葉のままに見事つき上げてくださいました。今年は、つき手として消防団員の応援があり、大いに助かりました。また、子どもたちの関心も高く、順番に体験してもらいました。併せて災害時の備蓄食料配給訓練も実施。来賓の方々からは、異口同音に「このような町内会イベントは少なくなりましたね」とのお言葉。岡山市からも担当課の取材があり、支えあい等、地域に必要な役割、コミュニケーションはここから始まります。（町内会長）

